

まちのできごと

令和3年度退任自治会長に 知事感謝状が贈呈されました

8月10日(火)、旭町区の上野井有田振興局長から両氏に対し、長く自治会活動に活躍され、地域の発展に尽くされたとして知事感謝状が贈呈されることとなり、山野井有田振興局長から両氏に伝達されました。

山崎氏におかれましては、平成14年度から平成17年度までの間(4年間)、平成27年度から令和2年度までの間(6年間)の通算10年に渡り、旭町区長として地域自治活動に尽力された功績は大きく、この度の受賞となりました。

奥氏におかれましては、平成17年度から平成20年度までの間(4年間)、平成23年度から平成24年度までの間(2年間)、平成29年度から令和2年度までの間(4年間)の通算10年に渡り、猪谷区長として地域自治活動に尽力された功績は大きく、この度の受賞となりました。

受賞おめでとうございます。

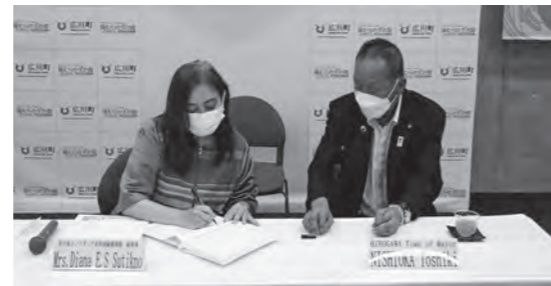


▲ 山崎 哲雄 氏



▲ 奥 彰 氏

稲むらの火の館に 在大阪インドネシア総領事が来館



8月3日(火)、稲むらの火の館にディアナ・エミラ・サリー・スティクノ在大阪インドネシア総領事が来館されました。

和歌山県とインドネシアは、平成28年に経済交流促進を目的とした共同声明を締結し、交流を続けてきました。コロナ終息後の活発な交流を見据えて、本県についての理解をより深めるため、今回来県されました。

日程の最終の訪問先となった稲むらの火の館では、西岡町長らとの懇談で、インドネシアのアチェ津波博物館と提携していることもあり、「津波防災のことをさらに勉強して帰りたい」とも述べられました。

その後、館内の展示見学に移り、崎山館長の説明に質問されるなど熱心に見学をされていました。

「第2回湯浅警察署防災標語コンクール」で 山本千尋さんが優秀賞、林鼓太朗さんと宮崎蒼己さんが 佳作賞を受賞しました

第2回湯浅警察署防災標語コンクールにおいて、応募された315作品の中から、南広小学校6年生の山本千尋さんの標語『悲しくとももどっちゃいけない前を向け』が優秀賞に選ばれました。この標語には、「津波は2度3度繰り返されるから、友達がいなくても、人がいても、悲しくとも戻ってはいけない」という思いが込められています。

また、広小学校6年生の林鼓太朗さんの標語『訓練は命を守る練習だ』と広小学校6年生の宮崎蒼己さんの標語『すぐにげる自分の意思で行動を』が佳作賞を受賞しました。なお、入選作品には、広小学校の高橋凛乃さん、南広小学校の安宅絢菜さん、田中陽菜さん、津木小学校の小林結愛さん、古垣内歩さんの作品が選出されております。

受賞されたみなさん、おめでとうございます。



▲ 山本 千尋 さん



▲ 林 鼓太朗 さん



▲ 宮崎 蒼己 さん

いざというときの為に！！ 津木小学校で不審者対応訓練を実施



7月1日(木)、津木小学校において湯浅警察署、有田地区地域安全協議会広川支部及び広川町役場との合同による不審者対応訓練が実施されました。

訓練は、『刃物を持った不審者が、小学校に侵入してきて暴れ出す』との想定で実践訓練を行い、その後、湯浅警察署員による講話学習が実施されました。

実践訓練では、児童の避難誘導、110番通報、教職員によるさすまたでの不審者制圧の訓練が行われ、児童は突然現れた不審者に驚き戸惑いながらも、落ち着いて避難場所まで避難することができていました。また、不審者の対応にあたった教職員も、協力し合い見事に不審者を制圧することができました。

講話学習では、湯浅警察署員から『不審者に声をかけられたときの対処法』をテーマに、合い言葉『いかのおすし』等についての説明を受けました。

最後に、有田地区地域安全協議会広川支部の地域安全推進委員から児童に防犯啓発物資が贈呈されました。